

平成30年度第2回真室川町総合教育会議 会議録

平成31年2月27日（水）午後2時より、真室川町中央公民館研修室2において、平成30年度第2回真室川町総合教育会議を開催した。

| | | |
|--------|-------------|--------|
| 出席者 | 町長 | 新田 隆治 |
| | 教育長 | 門脇 昭 |
| | 教育委員 | 遠田 且子 |
| | 教育委員 | 井上 夏来 |
| | 教育委員 | 鮭延 三枝子 |
| 事務局出席者 | 総務課長 | 佐藤 和弥 |
| | 教育課長 | 八鍬 重一 |
| | 指導主幹 | 浅沼 幸治 |
| | 総務管理・学校教育担当 | |
| | 課長補佐 | 山田 千穂 |
| | 子育て支援担当 | |
| | 課長補佐 | 佐藤 洋子 |
| | 生涯学習・スポーツ担当 | |
| | 課長補佐 | 須田 英樹 |

会議次第

- 1 開会
- 2 あいさつ
町長
教育長
- 3 協議・調整事項（座長：町長）
 - (1) 真室川町教育振興計画について
 - (2) 部活動の在り方に関する方針について
 - (3) その他
- 4 その他
- 5 閉会

会議の経過

教育課長 (1 開会)

町長 (2 あいさつ)

本日の大きなテーマは真室川町教育振興計画になりますが、短期間で仕上げていただきました。また教育委員の皆さまも、ようやく教育の指標が見えてきたと思われているのではないかと思います。

昨年度も、出来る所から始めているわけですが、その反響は教育委員の皆さまも見ていらっしゃると思いますので、後ほどそういったこともお聞かせ願いながらと思っております。

効果はすぐに出るわけではありませんが、しっかりと町の子育ての方針にのっとった形で保育・教育に町政の力を注ぎ、教育委員会の方でもそのようにしていただけたら、真室川の将来は決して暗いものではないと思っています。将来の真室川を背負って立つ人材が輩出される事を心から願っており、教育委員の皆さまも当然そのような気持ちでいらっしゃると思いますので、活発に意見交換をしていただきたいと思っています。

尚一層の将来の人材育成につながるような会議になればと思っておりますので、今日もよろしく願いいたします。

教育長 あらためまして、こんにちは。

常日頃から本町の教育行政につきましては様々なご支援とご協力をいただきまして、本当に感謝申し上げます。ありがとうございます。

先ほど町長から話もありました教育振興計画については今日も話題になるわけですが、一昨日パブリックコメントを終了いたしまして、昨日は町議会の全員協議会で説明させていただきました。

国内では、千葉県野田市の虐待案件、大津市のいじめ裁判、スマートフォンの学校への持ち込みの緩和など、この頃教育に関する話題が多いと個人的に思っております。

このような話題に対して、山形新聞に真室川小学校の記事が3日連続で掲載されるという嬉しい話題もありました。そのような新聞記事が出ると、とても元気が出ると感じています。

本日もどうぞよろしく願いいたします。

八鍬課長 (座長：町長へ)

町長 それでは3協議・調整事項(1)真室川町教育振興計画についてですが、資料については事前配布されていたかと思っておりますので、事務局より説明をお願いします。

浅沼主幹 (資料に基づき説明)

- 山田補佐 (公営塾について：資料に基づき説明)
- 須田補佐 (街中図書館について：資料に基づき説明)
- 町長 事務局より説明がありました。感想・ご意見・質問等ございましたらよろしくお願ひします。
- 遠田委員 感想になりますが、策定の趣旨に以前から思っていたことを、そのまままとめて言葉にさせていただいたと思ひ、心から賛同しております。
- 町民全体がレベルアップしていく事により、学校の教育も幼児の教育もレベルアップしていくのではないかと思ひます。
- 本日は総務課長も出席くださっていますので、そこからすべての課長、そして町の職員全体に行き渡り、教育課でなくても町の教育に強く関わっていくという意識を持っていただきたいと思ひます。
- また、総合型地域スポーツクラブの部分に、健康・介護予防とあります。介護の現場にいらっしゃる職員の方や間をつなぐ方を町民全体で支えることにより、既に介護を受けている方についても生涯の最後まで常に志を失わずにという方向になれば、自分が今いる場所で出来るだけの事をやっいてこう、という気持ちになる事も考えられるのではないかと思ひます。
- 鮭延委員 先ほど説明いただいた「校種をこえた連続性のある学びの推進」の本物教室に関してですが、例えば山響の方を呼ぶとなると大変だと思うので、コンサート等が開催されるようになった時にこちらから出向くのも、一つのチャンスかと思ひます。
- まずは新庄市など身近にある所から利用できればと思ひました。
- 井上委員 教育振興計画の策定にあたっては、オブザーバーとして会議にも出席させていただき、大変活発な議論の中とても良いものが揃ってのスタートができるのではと感じているところです。
- やはり何をやるにしても、パンフレットやチラシの周知だけでは、中々とびついてくる人はいないのではという気がします。策定に関わっていただいた委員の皆さんについても、できたからこれで終わりではなく、更に広めていただけたらと思ひます。
- また、それにプラスして町内で活躍されている方にも協力をいただき、拠点として何人か配置して発信していくというような方法で、是非、人に活躍していただく場を作って、少しずつでも確実に輪を広げていければと思ひます。そしてそのような方々の活躍をホームページや広報で紹介し、関心をもつていただけたらと思ひます。
- 町長 計画にあたり策定委員会というものはありますが、そこで終わってしまうのがほとんどです。そこからまた一緒にPRするという事は今まで無かったので、これは必要と思ひます。

- 遠田委員　　今の考えはとても良いと思いました。「あべあべ」のようなところにも情報を流したり、別の年代の方の集まりなどを把握していれば、協力をお願いしたりしやすいのではと思いました。
- 町長　　町内の各団体や活躍されている方が、「自分はこの教育振興計画の中のどの部分に当たるのか」ということが分かるような形になり、常に意識していただけるようになると、関連する方にも話をしやすくなると思います。このような仕組みづくりですね。
- 鮭延委員　　町出身で活躍されている方はたくさんいらっしゃると思います。映画の仕事に携わり、スタイリストをされている町出身の方がいらっしゃると思いました。このような方の講演などをぜひ企画していただけると、本物に触れるという事で子どもたちの励みにもなるのではと思います。
- 教育長　　私たちが知らないだけで、もしかしたらもっとたくさんいらっしゃるかもしれないので、このような掘り起こしは必要なのかもしれません。先ほどの話にあった、呼ぶのではなくこちらから出向くという点では、開催される場所・時間帯・距離などの問題はあります。
- 遠田委員　　まずは意識を傾けていくという事で、具体的な案は無いのですが、教育委員会の中から、また町役場の中から町民に広げていくような事が出来ればと思っています。
- 教育長　　全世代型で進めたいと思っています。教育委員会はどうしても学校教育に偏りがちですが、全町民が対象という事で例えばいま町長がおっしゃったスタディツアーについては、どちらかと言うと一般町民向けになっています。また、町民で完結せず、大学連携などで大学生に若い人の視点で町を見てもらって評価してもらおうといった事も考えています。大学連携に関しては、様々な可能性を広げていく一つのきっかけにしたいと思います。
- 町長　　先ほど井上委員から話が出ました周知の仕方ですが、私も考えていかななくてはと思っています。特に今回は公営塾について予算化し、議会に提出するわけですが、保護者へのアピールも必要と考えています。
- 遠田委員　　本町ではあまり強く打ち出してはいませんが、他市町村はインバウンドという事で外国のお客様の招致に力を入れています。そこでやはり必要になるのは英語だという事になります。
- 教育長　　外国の方もそうですが、他の地域の方と関わる時に自分の事、自分たちの町の事をしっかりと話せるように学んでおくという事は、とても大事だと思います。まだ紹介されていない、町の良いところ探しのような企画もあつたら嬉しいと思っています。
- 町長　　学校には、ふるさと学習を強く進めていきたいということで理解して

いただいております。学校内で終わらないでそれを発信していくことで、色々な人と関わり、初めて町の良さを知る学習になっています。

また、施策9【主な取り組み】(3)「ふるさと検定」等の実施についてはこれからののですが、ふるさとを見つめるきっかけにしていきたいということで、こちらは将来の展望を含めての案となっています。

遠田委員 これは町を知るためのプログラムとして、繰り返し何年かおきに行うことで興味を持ってくれる方もいるだろうし、みんなが町のことをよく知ることになるのではと思います。

町長 歴史研究会の方も一生懸命頑張っておりますが、やはり好きな方でないと難しいというところがあります。このような機会が必要だと思います。

遠田委員 番楽についてですが、今年はとても人材が育っていると思えました。ただ、他のイベント等と組み合わせたりして、伝承祭や番楽フェスティバルにもう少し町の人を呼べないかと考えたところでした。

信仰と関わっている部分は地域の伝統行事として行っていただき、せっかく育っている素晴らしい舞い手を、多くの町民の皆さんに見ていただきたいと思えました。

教育長 生涯学習関係は特に行事が多いため、もう少し重点化していかなければと考えているところです。

関係団体と十分に話し合っ理解していただき、アクセントをつけての開催であれば可能ではないかという感じはしておりますが、この点は事務局の最大の課題です。

町長 私の体験からですが、何回か観に行っようやく面白さが分かるということもあります。やはり、何回か足を運んでもらい面白さが分かる方、好きな方たちから積極的に声をかけていただき、PRしていただくのが理想です。では次に進めさせていただきます。

3 協議・調整事項(2)部活動の在り方に関する方針について事務局より説明をお願いします。

浅沼主幹 (資料に基づき説明、八鍬課長補足説明)

町長 「保護者会主催の練習会」の部分についてですが、主催しないよう理解と協力を求めるとなっています。これは、「練習会はしないほしい」ということなのか、または「縮小して」ということになりますか。

八鍬課長 県が言っているのは、保護者会は練習会を主催するというような団体ではなく、あくまでも支援するための保護者の会であるので、「練習会をしないほしい」ということになります。しかし「クラブ」として活動する方法もあるため、現在は校長会と調整中です。

教育長 クラブ活動については部活動と違い、理解を求めていかなければなら

ないという立場であり、最終的には時間の縛りを優先していかざるを得ないという状況です。

現在、教育委員会では、県の方針に基づいて案を作成中です。周知する期間が短い中で、小学校のスポ少や関係団体への説明もありますので、理解を求める方向で動いていく予定でおります。

町長 団体競技だけでなく、人数が足りない場合は個人競技の話にもなるかと思えます。そうなった場合、今度は練習場所の確保という話題も出てくると思えます。今までは学校の中で行うのが部活動でしたが、学校以外の場所でも部活動とみなし、時間を含めるという事にしないと難しいので、よろしくお願いします。

次に進みます。3 協議・調整事項（3）その他について事務局より説明をお願いします。

八鍬課長 (資料に基づき説明)

教育長 先ほど少し食育について触れたのですが、これに関して先日、食育地産地消推進会議がありました。現在、農協から小学校へ月に1回「つや姫」「はえぬき」「雪若丸」を提供していただいています。

これを小学校だけでなく、こども園・保育所にも予算措置し、拡張してはどうかと思ったところでした。

お米や伝承野菜等、こども園・保育所にも提供する機会があっても良いと思えます。

八鍬課長 技術的などところで、状況の確認が必要です。

町長 また、家庭保育支援給付金についてですが、とりあえず今年は1歳までということでスタートしたいと思っているところです。

他にございませんか。以上で終了したいと思えます。

八鍬課長 以上をもちまして閉会とさせていただきます。

ありがとうございました。

一同 ありがとうございました。